

第 4 回経営顧問会議 議事概要 (案)

1. 日 時 : 平成 31 年 3 月 28 日 (木) 15 : 00 ~ 17 : 00

2. 場 所 : 東京事務所 役員会議室

3. 出席者 :

経営顧問会議委員

議長	田中 伸男	笹川平和財団 会長
	大庭 三枝	東京理科大学 教授
	松本 紘	理化学研究所 理事長
	真砂 靖	西村あさひ法律事務所 弁護士
	向殿 政男	明治大学 名誉教授
欠席	吉川 弘之	科学技術振興機構 特任フェロー
欠席	石田 寛人	本田財団 理事長
欠席	勝野 哲	電気事業連合会 会長
欠席	北村 正晴	テムス研究所 所長

原子力機構

	児玉 敏雄	理事長
	田口 康	副理事長
	青砥 紀身	理事
	三浦 幸俊	理事
	山本 徳洋	理事
	伊藤 肇	理事
	野田 耕一	理事
	前田 豊	理事
	仲川 滋	監事
	小長谷 公一	監事

4. 議 題：

- (1) 開会挨拶
- (2) 第3回議事概要(案)確認
- (3) 第3回経営顧問会議におけるご意見への対応について
- (4) 原子力機構の取組
- (5) 意見交換
- (6) 閉会挨拶

5. 配布資料：

- 資料 4-1. 第3回議事概要(案)
- 資料 4-2. 第3回経営顧問会議におけるご意見への対応について
- 資料 4-3. 将来ビジョンとイノベーション戦略への反映について
- 資料 4-4. バックエンドロードマップについて

6. 会議概要：

会議では、資料 4-1 に基づき第3回議事概要(案)について確認が行われ、原案どおり確認された。次に、事務局より資料 4-2 に基づき第3回経営顧問会議におけるご意見への対応について報告を行った。その後、永井戦略・国際企画室次長から資料 4-3 に基づき将来ビジョンとイノベーション戦略への反映について、田口副理事長から資料 4-4 に基づきバックエンドロードマップについてについて説明した。これらを受けて、各委員から幅広いご意見及びご指摘を頂いた。

7. 主なご意見及びご指摘：

【原子力の将来ビジョンについて】

- 原子力というのはこれだけ広い分野があつて、その中でどの分野と連携すれば原子力という技術の特殊性や優位性というものを示せるのか、ということを示してもらつたとわかりやすい。そうすれば、原子力技術そのものの必要性、有用性というものを強調できるのではないかと感じた。他の技術と連携しても原子力の技術は有用であり、重要であるということをもう少し強調すればよいのではないか。
- 原子力の政策を決めるのは政府かもしれないが、機構には今ある技術や科学が今どうなつていてどういう発展可能性があるか、国民に知らせる義務があると思う。将来ビジョンを分かりやすく国民に知らせて、こういう将来の展望を描き得るのだという発信をしてほしい。
- もう少し国際的な研究の連携や、核セキュリティについて書き加えた方がよいのではないか。
- 研究だけ見ても JAEA は大変素晴らしいことをたくさんやっているのだから、うまく組み合わせて説明していけば、いいメッセージが発信できるのではないか。

【将来ビジョンとバックエンドロードマップの関係について】

- 将来ビジョンとバックエンドロードマップの両方を俯瞰してみると、多くの施設を廃止してしまつて研究開発として何が残るのかという絵が見えない。
- JAEA として残す部分はどこなのかということを確認に示してほしい。

【高温ガス炉の研究開発の進め方について】

- 一般の人は安心を求めている。安全と言っても安心につながらなければ振り向いてくれない。小型であり、もし壊れても fail safe の構造で安全な炉の研究をやってはどうか。これは日本の得意な分野なのではないか。

以 上